

アポロニア21

5
2014
May

特集

連携して強くなる！

補綴再製ZEROプロジェクト

実況！ 同級生同士の連携

難治性腎臓病に歯科と耳鼻咽喉科が協力

津田忠政／氏家賢明／相田能輝／矢郷香／飯嶋睦／谷俊治
金子朋広／綿半鋼機(株)／(株)ウェイド／(株)オプテック

新連載

辻村傑

「自由診療型予防」のノウハウ

新連載

当院のニュースレター

あの先生のライフスタイル

守口憲三 (岩手県・守口歯科クリニック)

院長インタビュー

永井理 (福井県・永井歯科医院)

辛口対談・安田編集室

安田登

診療報酬改定を総合的に考える



一問一答

あの先生の ライフスタイル

第5回

守口憲二

Moriguchi
Kenzo

先生



■守口歯科クリニック 院長(岩手県)

ICOI日本支部長・デプロメイト、メデントインプラント学会名誉認定医、日本訪問歯科医学会会長・認定医・指導医、日本歯科放射線学会優良医、日本小児歯科学会会員、その他多数。歯学博士、岩手医科大学歯学部臨床教授第1号、文科大臣表彰。

診療スタイル：保険診療一日100人、訪問診療一日20件。自費診療、インプラント、MBP、ジルコニア、金属床、矯正治療。

生年：1947年

出身地：秋田県。中学校から仙台に転校し下宿生活

出身大学：岩手医科大学歯学部

生活スタイル

好きな食べ物は？

平均睡眠時間は？

5時間くらい(午前1時就寝、6時前起床)。

一日の中で好きな時間は？

寝る前の1時間の読書時間と、朝の5時から7時ころまで。誰にも邪魔されない時間だから。

・読書

好きなお酒は？

日本酒(冷やでも燶でも)。

ラーメン、そば、カレー等、安くてうまいもの。高くてうまいのは当たり前だから。もちろん高価なものも食べるが。

・旅行と散歩

国内外。年に十数回は旅行している(講演旅行は含まない)。外国はアジアと北米が多い。宿泊先の周辺を徒步で歩き回るのが趣味もある。建物、樹木、草花、風、匂いなどを感じながら。

武道とゴルフ。日本拳法は六段。ボク

シングは県の副会長をやっている。その他、剣道、柔道、空手をたしなむ。ゴルフは三度の飯より好きだったが、この5～6年は多忙のためお休み。オフィシャルで10・4までいった。



同じく歯科医師である息子の和(やすし)氏と、自宅のトレーニングジムにて。守口氏は日本拳法六段、和氏は三段。ガウンとチャンピオンベルトはお弟子さんたちからのプレゼント。



好きな洋服、時計、車などは？

服はヒツキー・フリーマン(アメリカ)、靴はバレット(イタリア)、カバンはゴールドファイル(ドイツ)、時計はパテック・フィリップ(スイス)、メガネはローデンストック(ドイツ)、車はベンツ(ドイツ)。これらがなぜ好きかというと、長く使えて結局は安く済むから。

パワースポットは？

八幡神社(亥年生まれの守り神様)、藤森神社(仙台の自宅にある神社で、戦争の神様)。しかし、神仏は頼るべからず。尊ぶべし。

読書は？

毎日1冊のペースで読む。ただし、専門書や雑誌は別。本屋の店員に、これら流行する作家や本を聞かれることも。最近印象に残った本は以下の通り。

- ・『忘れる技術』山田靈林、カッパブックス(光文社)
- ・『般若心経入門』松原泰道、祥伝社

この両書はそれぞれ200冊以上購入して、人に差し上げている。生きるために最も大切なことが書いてあるため。

座右の銘は？

「暫時不在」(ザンシフザイ)、「如同死人」(シニントオナシゴトシ)。一瞬でも油断すると死んだ人になる。
「ホンザ」(ホンザ)。置かれた場所、時間を真剣に楽しみながらやる。

尊敬する人は？

最も尊敬しているのは父親。他の方々を挙げる。

・納富哲雄先生

18年間、補綴の何たるかを教えられた。また外国の歯科医学に目を開かされた。

・高塚猛さん(ダイエー・シー・ホールホテル、ダイエー球団社長)

経営について最高のものを教えられた。経営は人である。

・ユージン関口先生(第140代ADA会長、USC副歯学部長)

今後の歯科医学の方向や、歯科医学の在るべき道を教えられた。

・その他多数の先生方

柳沢融先生、野坂洋一郎先生など。

学びのために実践していることは？

最高のものを見て、実践してそれを若い人に教える。そのためには学びに金銭を惜しまずかけること。

私はこんな人

長所と短所は？

分からぬ。ある人に対する長所は、別の人に対する短所となることもあるから。仲の良い友人の特徴は？

その道で自分を確立している人。政財界で有名になつたからいいとは限らない。その道のために自分を犠牲にすることができるかどうかである。

例えば、鈴木仙一先生はICOI（世界最大のインプラント学会）で格付けも高い）のために命をかけている。箱崎守男

先生は、日本の歯科界発展のために自分を犠牲にしている。

つらかった思い出は？

今は無い。苦しい・つらいは生きていれば必ずつきまとつもの。苦しいのは生きている証である。常に「私に苦労を与えてください」と願つてゐる。そしてそれを乗り越えていきたい。だから、私は仏滅や13日の金曜日はない。毎日が仏滅で13日の金曜日と考えて生きているからである。そうすると、苦しみが苦しみでなくなり、小さな喜びが大きくなる。

今まで成し遂げたことで意義深いと感じていることは？

・訪問歯科

日本で最初に訪問歯科協会や学会を設立し、現在までやつてこられたこと。今、私は歯科医師になつたのは訪問歯科をやるためにだつたのだという気持ちでいる。

・インプラント

現在ICOIの日本支部長を引き受けている。インプラントは歯髄も歯根膜も



日本訪問歯科協会の海外視察旅行にて。中央はユージン関口先生。



沖縄へ社員旅行。



スタッフとともに。

・訪問歯科

・インプラント

ない人工物である。しかし、安全に確實

に施術し、しつかりメインテナンスを行えば10年、20年と持たせることができる。

つまり、真実には「事実」と「実感」の2つがあるということだ。「事実」という真実でいうならば、地球は太陽の周りを回っている。しかし、「実感」という真実でいうと、地球の周りを太陽が回っていると考えても、何ら困らない。

東北地方にいて何か不便なことは?

私の住んでいる岩手県盛岡は、東北地方といわれるが、こちらからすれば東京が南北地方なのである。ものの見方が全て東京中心(江戸もしくは京都中心)なのが、日本の昔からの考え方である。

東北には東北の伝統ある文化が燐然と輝いていた。しかし、東京中心の考え方だと、辺境の蛮族としか見なされない。それゆえ、前九年の役(1051年)や後三年の役(1083年)が起きたのだと思う。「役」とは、日本国が外国と戦争を行う時に使用する言葉である。つまり中央政府にしてみれば、東北地方は外国だった

のである。元(モンゴル)との戦争も、「弘安の役」「文永の役」と呼ばれている。そして東北地方は中央政府によつて3回の制圧を受けている。

①8世紀の坂上田村麻呂による「蝦夷征伐」

②1189年の源頼朝による「奥州征伐」
③1868年の薩摩長州による「戊辰戦争」

高村光太郎の詩にあるが、東北人は黙々として牛のごとくそれに耐え、受け入れてきたのだ。

去年、その東京中心の考え方で大きな変化を与えた出来事があった。東北楽天イーグルスがプロ野球日本一に輝き、東北の地に初めて、日本シリーズでの優勝をもたらしたのである。

東北にいて不自由を感じることは何一つない。ここが世界の中心と考えているから。

生まれ変わつても 歯科医師になりたいと思うか?

なれるものならばなりたい。歯科医学は医学に勝るとも劣らない、ますます広い分野となる重要な学問と確信している。面白いし好きだし、寝ても覚めても歯科のことを考えているのだから。

私の夢

家族やスタッフへのメッセージ

「ありがとうございます」「感謝します」と言いたい。しかし私は生きている限り、変わり続けたい。

父親は高校生の私に、「百尺竿頭すべ

からく、いかに歩を進めんか?」とよく言つていた。高い崖つぶちから30mの竹竿を突き出して、その上を歩いていき、その先から一步踏み出せということだ。

死んでしまう。借金もあるし家族もスタッフもいる。どうしよう」と悩んだ時に気付いたのが、死んだつもりで変わること。実際死んではならないが、死んだ気で自分を変えていくことだと気付いた。だから今後も変わり続けたい。よろしく。